

平成31年度第1回和牛改良委員会資料

日時：令和元年5月14日 13:30～

場所：全農岡山県本部 総合家畜市場 会議室

岡山県農林水産部畜産課

農林水産総合センター畜産研究所

平成31年度 第1回和牛改良委員会
次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 委員及び役員の選任について

(2) 平成31年度種雄牛作出方針について

(3) 種雄牛の繋養計画について

(4) 第12回全国和牛能力共進会について

(5) その他

4 閉 会

(1) 委員及び役員の選任について

平成31年度岡山県和牛改良委員名簿

所 属	役 職	氏 名	備考
全国農業協同組合連合会岡山県本部	畜産部長	川崎 敦史	
〃	家畜流通課長	山本 高宏	
〃	総合家畜市場	柴田 憲志	
公益社団法人全国和牛登録協会岡山県支部	事務局長	下山 慎吾	
一般社団法人岡山県畜産協会	経営支援部長	栗木 隆吉	
岡山県家畜人工授精師協会	会長	狩谷 和宏	
びほく農業協同組合	営農生産部	石井 章義	
阿新農業協同組合	営農経済部	植木 博信	
真庭農業協同組合	営農経済部	野村 光明	
津山農業協同組合	営農生活部	杉山 祥郎	
勝英農業協同組合	畜産事業所	末菅 英人	
岡山県農林水産部畜産課	総括参事	斉藤 浩史	
岡山県農林水産総合センター畜産研究所	所長	馬場 誠	
〃	改良技術研究室長	川尻 鉄也	

事務局員名簿

所 属	役 職	氏 名	備考
岡山県農林水産部畜産課	主 任	荒金 知宏	
岡山県農林水産総合センター畜産研究所	専門研究員	片岡 博行	
〃	研究員	小林 宙	
〃	技 師	岩本侑希子	

平成31年度種雄牛作出方針（案）

1) 基本方針

岡山県和牛改良増殖対策要綱に定める和牛改良の基本方針に沿って岡山和牛が本来持っている増体能力と岡山固有の遺伝子を維持しながら肉質並びに食味の改良を行い質量兼備の種雄牛造りを行う。また、産肉能力の飛躍的な向上を目的に、他県からの精液導入も計画的に行う。このため、遺伝的能力評価を基本にしながら、産肉能力検定（直接法、現場後代検定法）による優良種雄牛の造成に取り組む。

2) 平成31年度指定交配について

① 岡山系種雄牛の作出

岡山系血液：1 / 2以上

【種雄牛】

岡山系 1 / 2以上 藤沢茂、新高水、新岡光 8 1 他

【交配雌牛】

能力評価要件	脂肪交雑 上位 25% (A3) 以内
血統要件	岡山系 1 / 4以上
その他	体型得点 80.1以上

② 増体系種雄牛の作出

期待能力：枝肉重量、ロース芯 上位 5% 以内、
歩留基準値 県平均以上
岡山系血液：1 / 4以上

【種雄牛】

気高系等 新岡光 8 1、美恵茂、藤沢茂、勝早桜 5 他

【交配雌牛】

能力評価要件	脂肪交雑 上位 10% 以内
血統要件	県固有の在来雌牛であること
その他	体型得点 80.1以上

③ 肉質系種雄牛の作出

期待能力：脂肪交雑 上位 5% 以内
岡山系血液：1 / 4以上

【種雄牛】

但馬系等 美恵茂、福中平、幸紀雄 他

【交配雌牛】

能力評価要件	脂肪交雑 上位 10% 以内 枝肉重量・ロース芯面積・歩留基準値 県平均以上
血統要件	県固有の在来雌牛であること
その他	体型得点 80.1以上

但し、上記の作出要件の他、改良委員会が認めるものについてはこれを作出できることとする。

3) 造成種雄牛の利用方針

① 岡山系種雄牛

交配雌：岡山系血液濃度が低く、枝肉重量・脂肪交雑が県平均以上のもの

② 増体系種雄牛

交配雌：但馬系血液濃度が高いもの

③ 肉質系種雄牛

交配雌：岡山系、気高系血液濃度が高いもの

今後の直接検定候補牛の状況

生年月日	父	母	産地等	備考	検定状況
H30.8.19	第12西丸	さなえ8	場内産	広域	検定中
H30.10.11	藤沢茂	第7かんげつ14	場内産	広域	検定中
H30.12.10	花平国	第45たま8の1	購入済み	広域	検定予定
H30.12.13	藤沢茂	ひろはなや	購入済み	広域	検定予定
H31.1.1	安福久	たかみず81の1		その他	未定
H31.1.6	美国桜	しんはなや10	場内産	広域	未定
H31.1.21	安福久	45たま8の18		その他	未定
H31.2.8	黒金糸藤	はついやさかえ	場内産	広域	未定
H31.3.27	新岡光81	かんげつ2801		その他	未定
H31.4.6	藤沢茂	ちえこ85		広域	未定
H31.4.15	福之姫	ひろはつはな	場内産	広域	未定
H31.4.27	新岡光81	くにしげなかひら		広域	未定
R1.6.4	新岡光81	やすひらかずみ7		広域	未定
R1.7.5	新岡光81	おおぞら1354		広域	未定

(3) 種雄牛の繫養計画について

研究所における種雄牛舎の繫養可能頭数は18頭で、年間3頭の候補種雄牛を新規に追加していることから、既存の種雄牛を計画的に淘汰する必要がある。

今年度も後代検定の結果等により非選抜となった種雄牛は廃用淘汰することとしているが、次の基幹種雄牛については、利用本数が減少しており、在庫本数を考慮すると今後の利用に支障がないことから廃用する了承を得たい。

(1) 名 号 義勝成 (黒14680 体型得点83.3)

①生年月日 H21年7月25日

②血 統

父：花茂勝2 父の父：平茂勝
父の母：第6はなや3 父の祖父：北国7の8
母：第10はせがわ1 母の父：松福美
母の母：第10はせがわ 母の祖父：北国7の8

③措置及び理由

措 置：廃 用

理 由：

昨年度の譲渡本数は13本で、精液在庫本数は2,097本あり、今後の利用に支障がない。

(2) 名 号 黒金糸藤 (黒原5540 体型得点83.8)

①生年月日 H23年3月29日

②血 統

父：糸藤(岡山) 父の父：第7糸桜
父の母：ひろた1 父の祖父：第6藤盛
母：としはつはな5 母の父：千代桜
母の母：としはつはな 母の祖父：利 花

③措置及び理由

措 置：廃 用

理 由：

昨年度の譲渡本数は35本で、精液在庫本数は2,245本あり、今後の利用に支障がない。

平成31年度種雄牛選抜等の状況

令和1年5月1日

区分	名号	父	母方祖父	肥育成績						精液在庫本数	H31年度選抜淘汰	淘汰等理由 検定進捗状況	備考
				調査頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	脂肪交雑				
基幹	義勝成	花茂勝2	松福美	85	29.0	476.2 kg	53.3 cm ²	7.8 cm	5.7	2,097	淘汰	利用本数の減少 (H30年度18本)	
				頭	カ月齢	55.077 (B2)	2.296 (C)	1.501 (1%)	0.986 (C)				
基幹	藤沢茂	沢茂勝	藤平茂	95	28.4	483.9 kg	62.9 cm ²	7.6 cm	6.9	3,455			
				頭	カ月齢	77.184 (A2)	20.687 (A3)	0.919 (1%)	1.743 (A3)				
基幹	黒金糸藤	糸藤(岡山)	千代桜	18	28.7	444.5 kg	53.3 cm ²	7.4 cm	6.5	2,245	淘汰	利用本数の減少 (H30年度35本)	
				頭	カ月齢	15.528 (C)	3.026 (C)	0.430 (C)	1.440 (B2)				
基幹	新高水	新糸藤	平茂勝	19	29.4	477.0 kg	62.0 cm ²	8.0 cm	6.9	2,035			
				頭	カ月齢	34.956 (C)	12.404 (A3)	1.234 (5%)	1.722 (A3)				
基幹	新潟光81	茂洋	平茂勝	33	28.8	505.7 kg	61.8 cm ²	8.1 cm	7.5	4,079			
				頭	カ月齢	105.367 (3%)	17.911 (3%)	1.349 (3%)	2.258 (3%)				
基幹	美恵茂	茂洋	勝忠平	11	29.8	515.6 kg	62.1 cm ²	7.3 cm	8.4	2,229			
				頭	カ月齢	92.329 (5%)	18.756 (3%)	0.550 (C)	2.606 (1%)				
候補	* 百合高	* 百合茂	* 第1花国	9	27.9	547.3 kg	57.3 cm ²	8.2 cm	7.6	2,097		21頭で検定開始	
				頭	カ月齢	81.373 (A1)	13.901 (A2)	1.028 (A2)	1.981 (A1)				
候補	* 葵花国2	* 第1花国	* 沢茂勝	14						527		14頭で検定開始	
				頭		62.191 (A3)	11.643 (B1)	0.670 (B2)	1.820 (A2)				
候補	* 晴乃国	* 第1花国	* 百合茂	16						563		16頭で検定開始	
				頭		90.128 (5%)	16.971 (5%)	1.281 (5%)	2.253 (3%)				
候補	* 秋藤花国	* 第1花国	* 美津福	16						1,325		16頭で検定開始	
				頭		55.026 (B2)	11.990 (B1)	0.729 (B2)	1.918 (A1)				
候補	* 高美須	* 北盛栄	* 百合茂	16						1,443		16頭で検定開始	
				頭		55.200 (B1)	13.666 (A3)	1.489 (1%)	2.098 (5%)				
候補	* 藤沢花茂	* 藤沢茂	* 西花8	20						1,242		20頭で検定開始	
				頭		69.222 (A3)	17.162 (5%)	0.560 (C)	1.767 (A3)				
候補	* 新初義	* 新初英	* 花茂勝2							1,086		H29後半調整交配	
						72.186 (A2)	12.604 (A3)	1.155 (A1)	1.410 (B2)				
候補	* 義勝珠	* 義勝成	* 沢茂勝							441		H29後半調整交配	
						46.235 (B2)	7.269 (C)	0.996 (A3)	1.399 (B2)				
候補	* 利花国	* 第1花国	* 利花							497		H30前半調整交配	
						60.369 (B1)	13.421 (A3)	0.771 (B2)	1.921 (A1)				
候補	* 藤初花	* 藤沢茂	* 千代桜							1,513		H30後半調整交配	
						69.876 (A3)	19.811 (1%)	0.782 (B2)	2.060 (5%)				
候補	* 新花百合	* 百合茂	* 安福久							291		H30後半調整交配	
						86.941 (A1)	26.522 (1%)	1.561 (1%)	2.720 (1%)				
候補	* 糸勝百合	* 美津百合	* 北平安									H31前半調整交配	
						25.459 (C)	13.049 (A3)	0.488 (C)	2.396 (1%)				

*印は期待育種価

第 1 2 回和牛能力共進会鹿児島大会 6・7・8 区肉牛の部 作出方法

授精時期 (移植時期)	出品時条件 (開会式を 10.6 で想定)	
	生後月齢	生年月日
AI H31.12.27 ~ H32.1.27	24 ヲ月未満	H32.10.7 以降生
ET H32.1.3 ~ H32.2.3		

1 岡山県広域後代検定推進事業による卵を活用

県から受精卵の無償譲渡を受け、各地域で受精卵移植を実施する。採卵する雌は脂肪交雑の育種価 1% のもの、ゲノミック評価が高いものとする。

ヌレ子での移動は各地域での通常の流通を基本とする。素牛移動は地域出品対策協議会が調整の主体を担い、過不足を地域間で行う。

H30 年度	17 頭	♂卵 50	♀卵 50	不明卵 50
H31 年度	15 頭	♂卵 50	♀卵 50	不明卵 30
		100	100	80

(直近の傾向で、採卵個数を算出。状態によりすべての卵を性判別できない。)

産子予定

$$\begin{aligned} \text{♂} & 100 \text{ 卵} \times \text{受胎率} 40\% = 40 \\ \text{不明卵} & 80 \text{ 卵} \times \text{受胎率} 40\% \div 2 = 16 \end{aligned} \quad \text{計 } 56 \text{ 頭}$$

2 地域での現地採卵による卵を活用

1 により不足する産子は地域で連携し、岡山和牛改良促進対策事業 (単県) などを活用し、受精卵を採取し子牛を生産するものとする。

岡山和牛改良促進対策事業

地域の創意工夫を重視し、優秀な繁殖雌牛の改良への取組を支援することで、地域ブランド牛の作出基盤の強化、地域和牛改良組合の改良増殖の推進、及び全国和牛能力共進会などで岡山和牛の改良成果の全国発信を促進する。

【うち育種牛受精卵採取助成】

改良目標を達成するために行う、雌牛からの採卵、移植に要する経費の 1/2 助成

※1 及び 2 とも移植に係る手数料は有料とする

- ・発情同期化処置 4,400 円 (家畜保健衛生所の場合)
- ・受精卵移植 11,270 円 (家畜保健衛生所の場合)

3 性判別♂精液を用いた人工授精による作出 (試験中) → H31 年も継続

出品を希望する地域出品対策協議会が県出品対策協議会から性判別精液の無償譲渡を受け、地域の繁殖雌牛に人工授精を実施し生産する。

- 30 年度：藤沢茂 5 本、新岡光 2 本 採卵用等に使用予定であり事務局に一任願います。
- 31 年度：美恵茂について試験製造を実施

第12回和牛能力共進会鹿児島大会 6・7・8区肉牛の部 作出状況

1 岡山県広域後代検定推進事業による採卵状況

【平成30年度当初計画】

H30年度	17頭	♂卵50	♀卵50	不明卵50
H31年度	15頭	♂卵50	♀卵50	不明卵30
		100	100	80

(直近の傾向で、採卵個数を算出。状態によりすべての卵を性判別できない。)

産子予定

♂ 100卵×受胎率40% = 40

不明卵 80卵×受胎率40%÷2 = 16

計56頭

【H31年1月末現在】

	♂卵数	不明卵数	採卵実施(予定)頭数
平成30年度実施済 育種価 ゲバツカ	49	103	18頭
	34	52	15頭
平成31年度予定	26	52	13頭
	109	207	

産子予定

♂ 109卵×受胎率40% = 43

不明卵 207卵×受胎率30%÷2 = 31

計74頭

2 6～8区出品牛の作出

(1) 出品対策協議会は1により岡山県が採卵した卵の無償譲渡を受けて、各地域の出品対策協議会へ卵を配布する。

配布にあたっては、各地域出品対策協議会に所属する肥育農家の過去の枝肉成績や採卵した雌の地域等を考慮して、協議会事務局で配布数を判断する。

(2) H31年7月中に各地域協議会へ肥育希望頭数、受卵牛頭数を調査する。

(3) ヌレ子での移動は各地域での通常の流通を基本とする。素牛移動は地域出品対策協議会が調整の主体を担い、過不足を地域間で行う。

